

国指定

所在地：味間奥

だいくじほんどう

## 大国寺本堂

禅宗様式（唐様）と和様式を折衷した建築学上珍しい様式をもった建物で、鎌倉時代末期から室町時代初期に建立されたと推定されている。14世紀初頭という早い時期の折衷様式を示す事例として、極めて重要な建築である。

昭和40年代に解体修理され、改造されていた部分が原形復元され現在の姿となっている。堂内には5からようの仏像（国指定重要文化財）が安置されている。

